

NPO法人四季の郷やくし

持続可能なスキー場を目指して

VOL. 20

1年6カ月に及ぶコロナウイルスとの戦いですが、未だゴールが見えない状況が続いています。

子供達は夏休み期間中、ラジオ体操、プール開放、夏祭りと中止が相次ぎ、制限された生活を余儀なくされていました。

一刻も早い終息を願い、冬には白銀のゲレンデで子供達の笑顔を見たいと思っています。

今回もNPO法人四季の郷やくしの活動を報告させていただきます。

ぜひ御覧ください。

今後の薬師スキー場の運営について

前回の会報でもご報告した通り、2月定例議会の可決を受け、小出スキー場、須原スキー場、薬師スキー場が令和3、4年度は昨年同様の支援（夏季修繕）を受けられることになりました。

会員の皆様も気になるのは、その後はどうなるのかということだと思います。



“おおまかな” 魚沼市の考えは

- ① 令和5年以降についてもスキー場に対する支援を検討する。
- ② “持続可能なスキー場”であるために、グリーンシーズンの活用、収益性の強化、設備の長寿命化を意識した事業計画の策定を求める。

というところではないかと受け止めています。

私どもNPO四季の郷やくし（薬師スキー場）としては、近い将来にペアリフトの設置を強く希望しています。ペアリフト化による安全性と輸送能力の向上により、スキー授業や教育旅行の受け入れ、スキー大会および講習会等の開催など収入増に努め、将来に渡って“持続可能なスキー場”として、経営の強化に努めたいと考えています。

また、魚沼市に対しては、

- ① 市内小中学校のスキー授業の回数を増やす。
- ② スキー授業や教育旅行の他市町村との行政間のつながりによる営業活動のサポートや補助事業の策定。
- ③ 市内スキー場リフトシーズン券を市民が購入する際の支援（現在は小中学生のみ）の拡充。

などを引き続き要望していきたいと思っています。

薬師 スキー場の 目標

雪国の冬をポジティブにとらえ、雪を楽しむことの象徴として、スキー場が大勢の皆様から利用されることです。雪国の子供達が当たり前前にスキーを楽しみ、大人になっても幼少期の思い出として残るようにしたいのです。会員も皆様も引き続き温かい目で見守ってください。

薬師周辺里山整備事業について

令和3年度の標記事業について、第1回目が6月20日、第2回目が7月25日に行われました。七日市、七日市新田の皆様を中心に、葎沢、大沢、吉田（薬師・鳴倉コミュニティ協議会）の方や各利用団体の皆様からご協力いただき、大変ありがとうございました。今年度の環境整備事業は9月5日（日）のゲレンデ草刈りを残すのみとなりました。残暑の中、大変な作業ではありますが、地域の宝であるスキー場を存続するために、地域の皆様、利用者の皆様とともに手を携えて頑張りたいと思いますので、大勢のご参加をお願いいたします。



NPO法人 四季の郷やくしとは

この法人は、薬師スキー場の健全な運営と周辺施設との連携、四季を通じたゲレンデの有効活用などにより、子供達の健全育成と健康福利および地域の活性化に寄与することを目的とする。

お孫さん、お子さん、地域の子供達にとってかけがえのない遊び場です。みんなでこの素晴らしい環境を守り、未来へ繋げていきましょう。将来子供たちがこの小さな薬師スキー場を誇りに思ってもらうためにも皆様のお力が必要です。

NPO法人 四季の郷やくしでは趣旨に賛同いただいた方への入会申し込みを受け付けております。

問い合わせ先:NPO法人四季の郷やくし
事務局 ゆ〜パーク薬師 TEL:025-792-5554



次回会報発行 10月予定